

# 新技術・新工法

登録番号	18029	<p>緑石</p> <p>水 種子 2%</p> <p>アスファルト混合物の場合、端部は空隙が生じやすい。そのため雨水や雑草種子の混入を防ぐことはできない。</p> <p>↓</p> <p>緑石</p> <p>2%</p> <p>トップコート レベリング アスコン</p> <p>レベリング材はアスファルト合材の性状にあったリサイクル可能な流動性の高い材料です。 トップコート材は水性ナノR・H塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。</p>
新技術名	クサデナース	
副題	塗布型防草対策工法	
従来技術名	道路除草工 人力除草	
活用区分	—	
新技術等の区分	工法	
新技術等の分野	品質、経済性、安全性、環境、県産資材活用	
NETIS番号	QS-170003-A	
問い合わせ先	(株)アマケンテック 0969-76-1711	

概要	従来技術は人力除草で年1回の草刈りが必要であったが、新技術工法のクサデナースは雑草の繁茂が常時、抑制でき遮光性・防水性に優れる。日当たり施工量が減少するため工程が増加する。材料代が高価となるが、サイクルコストで比較すると7年目以降には逆転する。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縁石境界部を密封することにより、常に乾燥状態が継続され光も遮断するため、雑草の種子の発芽が抑制される。</li> <li>・長期間のメンテナンスフリーが確保できるので、維持管理費の低減を図ることができる。</li> </ul>
適用可能な箇所	<p>自然条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天候不良(降雨、路面湿潤時)の場合は施工を避ける。</li> <li>・低温(5℃以下)での施工は品質低下をまねく可能性があるため施工を避ける。</li> </ul> <p>現場条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業スペースとして縁石より1m程度必要</li> </ul> <p>全国に提供可能</p>
施工単位等	<p>提案工法 1,256,786円/1000m</p> <p>従来工法 182,060円/1000m(1年あたり)</p>